

課題と今後の対応

1) 後遺症に関する最新の知見の情報提供

後遺症の症状は多岐に渡っており、その病態についていまだ不明な点が多いため、各機関の最新の研究に基づく知見を把握し、また、医療機関等と情報共有する等して、必要な情報についてホームページ等で県民に周知を図っていく。

2) 後遺症の社会生活への影響に対する対応

後遺症の社会生活への影響については、罹患前の社会生活に戻れるよう、ホームページ等で産業労働分野に係る情報（相談窓口等）をより発信し、広く県民に周知を図っていく。

3) 後遺症の治療・相談への対応

後遺症の治療・相談が円滑にできるように、「罹患後症状に対応している一次受け医療機関 検索システム」を広く県民に周知を図っていく。また、より多くの後遺症に対応している医療機関が「罹患後症状に対応している一次受け医療機関」として登録いただくよう周知を図っていく。